

あおぞら

行方市 社協だより

No.30 2013.9.1

— 発行者 —
社会福祉法人
行方市社会福祉協議会
住所 茨城県行方市玉造甲403番地
☎ 0299 (36) 2020
FAX 0299 (55) 4545
URL <http://www.yokattanet.jp>



のびのびサポート事業

P12

善意銀行・編集後記

P10-11

お知らせ

P9

はじめての手話⑦

P8

社協のさーびす②

P7

第11回ビックリ・
発見・夏キャンプ
のびのびサポート事業

P6

赤い羽根共同募金

P5

いきいき長寿者紹介

P2-4

平成24年度事業報告
平成24年度決算報告

目次

平成24年度事業報告

～安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指して
主に次のような事業を実施いたしました

会員数

- ・一般会員 8359世帯
- ・賛助会員 237世帯
- ・特別会員 142事業所

善意銀行運営事業

- ・市民の皆様の温かい善意の寄付金や物品をお預かりしています。寄付された金品は寄付者の意思に添った福祉事業等に使用させていただきます。

広報啓発活動

- ・社協だより「あおぞら」を発行しました。(6,9,12,3月)

相談事業

- ・弁護士による無料法律相談を実施しました。(毎月2回 相談件数58件)

生活福祉資金貸付事業

- (茨城県社会福祉協議会より事務委託)
- 低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、在宅福祉及び社会参加の促進を図る目的で実施しました。(相談件数30件)

介護保険事業

- 居宅介護支援事業
- ・指定居宅介護支援事業所の運営を行い、介護支援専門員(ケアマネジャー)によるケアプランの作成、利用者のサービス提供相談、訪問助言指導、介護保険認定調査を実施しました。
- (プラン作成数 2418件)

訪問介護事業

- 指定訪問介護事業所の運営を行いホームヘルパーの派遣、サービス内容の相談を実施しました。
- (利用者数 延べ1495名 派遣時間 延べ16532.5時間)

ボランティア活動推進事業

- ボランティア活動を希望される方と必要としている方の調整等を行いました。(団体登録41団体760名 個人登録128名 依頼件数28件 派遣延べ人数169名)
- 手話教室の開催 (3ヶ所 計126回)
- 児童・生徒へのボランティア普及活動・高齢者や障害者への正しい

理解促進のために学校等での各種福祉体験学習を実施しました。(計18回実施)

運営委員会の開催

- 各種ボランティア団体等への補助金の審査を行いました。

福祉教育学区指定事業

- 福祉教育推進のために指定事業を実施しました。(玉造西小学校)

障害福祉サービス事業

- 居宅介護サービス事業
- ・指定訪問介護事業所(自立支援法)の運営を行い、障害者(身体・知的・精神)への身体介護、生活支援サービスを実施しました。(利用者数 延べ497名 派遣時間 延べ5548.2時間)

障害者移動支援事業

- 屋外での移動が困難な障害者等に対し、ホームヘルパーを派遣して外出のための移動を支援しました。(利用者数 延べ11名 派遣時間 延べ14.5時間)

障害者地域活動支援センター事業

- 障害のある方に対し、働く場所と創作活動の機会を提供し、知識・能力向上のための支援を実施しました。
- (利用者数26名 月々金 9時～15時 作業内容 公園清掃、内職作業、生活訓練、創作活動等)

福祉団体への支援

- ・老人クラブ連合会・ボランティア連絡協議会・身体障害者福祉協議会・遺族会等の事務局運営支援を行いました。

相談事業

- 在宅福祉相談
- ・医療機関及び福祉施設等を退院・退所後の在宅生活の相談支援を行いました。

児童福祉事業

- 子育てサポート事業
- ・子育てサポーター(子育てを支援する方)と利用者(子育て支援を必要とする方)の相互援助活動を実施しました。(保育サービス提供時間343.5時間)



子育てサポーター養成講座



のびのびサポート事業



福祉体験事業（手話体験）



ビックリ・発見・夏キャンプ



社会福祉大会

障害児（者）福祉活動事業

- ビックリ・発見・夏キャンプ
 - ・共同生活を体験し、社会で暮らしていくための知識等を学ぶことを目的に実施しました。（参加者 143名 協力 アーユ医療福祉専門学校）
- ふれあい料理教室
 - ・栄養士考案の献立による料理作りを通じて、健康作り及び仲間作りを行いました。（11回 延べ208名参加）
- のびのびサポート事業
 - ・長期休暇中のストレス軽減をはかるべく、地域での生活の充実と交流を推進し、心身の発達と生活の豊かさを醸成することを目的として実施しました。（10回延べ81名参加）

在宅福祉サービス・在宅生活支援事業

- 福祉機器貸出事業
 - ・疾病やケガ、障害者及び高齢者の方などで一時的に車いす等の福祉機器が必要となった方に貸出を行いました。（87件）
- 福祉車両貸出事業
 - ・障害者や高齢者及びその家族やボランティアの方に車いすこと乗り降りできる福祉車両の貸出を行いました。（146件）
- 訪問歯科治療機器貸出事業
 - ・歯科医への訪問治療機器の貸出を行いました。（6件）
- 地域ケアシステム推進事業
 - ・支援を必要とする方一人ひとりに専門家チームによるきめ細かい在宅サービスを提供しました。また、精神的病気を抱える方を対象に、ひきこもり防止の目的でサロン

を行いました。（相談件数12件 研修会1回 こころのサロン2回 延べ8名参加）

- 在宅福祉サービスセンター事業
 - ・高齢者や障害者（児）に対しボランティアの協力を得て、日常生活における援助等を実施しました。（利用件数 計3664件 利用時間 延べ5514時間）
- 在宅言語等リハビリアドバイザー事業
 - ・病気やけがにより言葉によるコミュニケーション能力の低下した方に對して、能力回復を目的として言語聴覚士による訪問指導を実施しました。（18回 延べ72名）
- 軽度生活援助事業
 - ・在宅のひとり暮らし高齢者に對し、軽易な日常生活上の援助を実施しました。（利用者数 延べ115名 利用回数 計609回）

給食サービス事業

- 在宅の高齢者等で食事作りが困難な方に、栄養のバランスを考えた食事をご自宅にお届けするともに、声かけや安否の確認をいたしました。（麻生地区 延べ1833食 協力 麻生地区給食ボランティア 北浦地区 延べ1526食 協力 ボランティアグループさわやか 北浦地区食生活改善推進員 玉造地区 会食型 計3回 配食型 1800食 協力 よもぎ会 ひだまり 玉造地区給食ボランティア）
- 日常生活自立支援事業
 - ・自分ひとりで金銭の管理や支払い等が困難な方に対して、福祉サービスの利用援助、代行、利用料の支払いなどを実施しました。（相談件数 14件 利用者数9名）

社会福祉大会事業

- 行方市社会福祉大会
 - ・福祉の推進に寄与した団体や個人に對して、表彰状の授与や感謝状の贈呈を行うとともに、介護予防を目的とした講演を実施しました。（表彰4名 講演3地域での介護予防について 茨城県立健康プラザ管理者 大田仁史氏 参加者278名）

母子・父子福祉事業

- ひとり親家庭新入学児童祝い品贈呈事業（7件）
- ひとり親家庭ふれあい遠足（10世帯参加）

共同募金事業

- 赤い羽根共同募金運動
 - ・ 10月1日より全国一斉に赤い羽根共同募金運動が実施され、行方市でも個別募金・学校等募金・イベント募金・設置募金・職域募金・街頭募金を実施しました。
 - (募金総額 4,789,893円)

- 歳末たすけあい運動
 - ・ 市内全域において、高齢者世帯・障害者世帯の方々を対象に、シルバー人材センター等の皆様の協力を得て家事援助サービスを実施しました。(掃除14件 除草・枝払い47件 障子・網戸張り116件)

高齢者福祉事業

- 高齢者サロン事業
 - ・ 高齢者が生涯健康で生きがいを持つて社会活動できるように健康・生きがい作りに関する事業及びリーダーの育成並びにひきこもり防止や交流事業を実施しました。(2ヶ所 計13回 延べ303名参加)

- ふれあい広場事業
 - ・ 健康体操やレクリエーションをとおし、高齢者の健康作りを目的として実施しました。(6ヶ所 計60回 延べ1116名参加)

いきいきでニナール事業

- 高齢者を対象に理学療法士や行方市シルバーリハビリ体操指導士会による指導で、いつでも健康やかにいきいきと自分らしく毎日を過ごせるよう介護予防体操教室を実施しました。(2ヶ所 計45回 延べ526名参加)

- 元気で~さ~びす館
 - ・ 高齢者のひきこもり予防及び健康作りを通じた交流を目的として実施しました。(2ヶ所 計24回 延べ222名参加)

新公共交通システム事業

- 利用者の予約により目的地まで乗合で送迎するタクシー(デマンド型乗合タクシー)の運行を実施しました。(利用者登録数 3400名 利用者数 延べ19438名)



元気で~さ~びす館

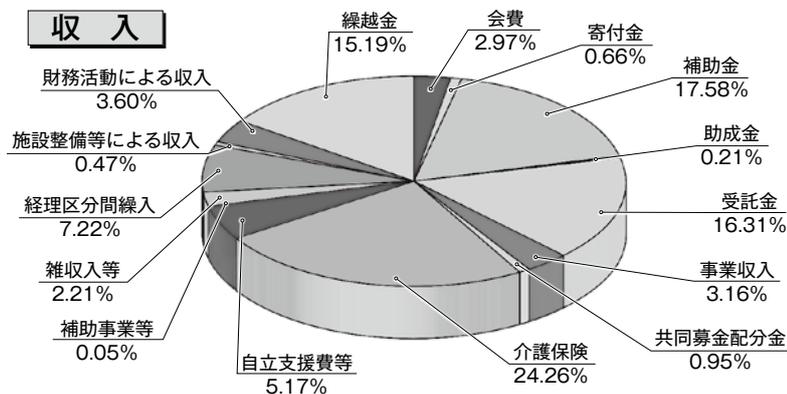


赤い羽根共同募金運動

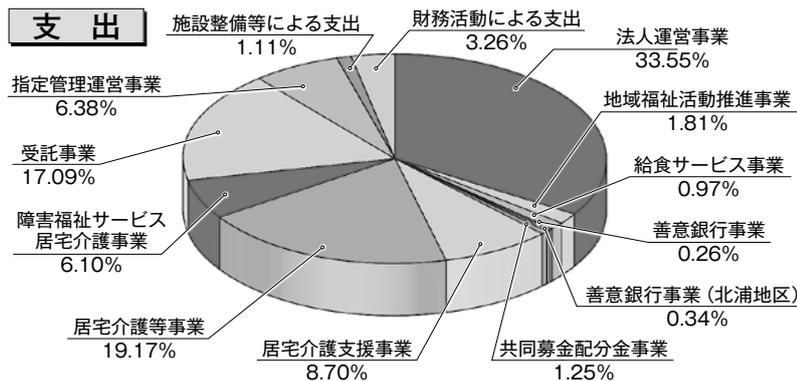
(単位:円)

平成24年度決算報告

収入



支出



会費	10,490,000
寄付金	2,331,713
補助金	62,018,281
助成金	728,500
受託金	57,558,772
事業収入	11,149,688
共同募金配分金	3,340,893
介護保険	85,621,575
自立支援費等	18,251,651
補助事業等	161,464
雑収入等	7,795,607
経理区分間繰入	25,469,733
施設整備等による収入	1,646,465
財務活動による収入	12,697,590
繰越金	53,606,929
合計	352,868,861

法人運営事業	99,411,265
地域福祉活動推進事業	5,361,228
給食サービス事業	2,878,059
善意銀行事業	773,785
善意銀行事業(北浦地区)	1,020,428
共同募金配分金事業	3,703,923
居宅介護支援事業	25,787,978
居宅介護等事業	56,803,806
障害福祉サービス居宅介護事業	18,063,760
受託事業	50,635,738
指定管理運営事業	18,894,052
施設整備等による支出	3,290,555
財務活動による支出	9,653,466
合計	296,278,043

「らきらき長寿者紹介」

くわしま ひさし
桑島 寿さん (行方市島並) 91歳



よく晴れた日の午前中にお伺いしました。桑島さんは玄関を開けて待っていてくださいました。「話は聞いていますよ。どうぞ中へ。」最初はお邪魔する家を間違えたかと思いました。なぜなら聞いていたお歳にはとても見えなかったからです。家の中に案内してくださる立ち振る舞



桑島 寿さん

いからはとても実年齢には思えません。

桑島さんをご紹介いただいたのは、※シルバリーハビリ体操がきっかけでした。当初は91歳で体操に参加されているのかと思っていました。ところが話を聞いてみると指導するほうだと言っていました。しかも2級とのこと。これは取材をしないわけにはいきませぬ。

桑島さんが3級を取得したのは約4年前、その後2級を取得したとのこと。当時のいきさつについて伺いました。「講演会を聴きに行ったんだよ。そこで、シルバリーハビリ体操のことを話していたね。これはやってみようと思ったんだ。少しでも地域やみんなのためになればと思ってる。もちろん自分のため

にもね。」と話してくださいました。

また、桑島さんはその他にも詩吟や短歌、そして水墨画などに趣味にされています。先日開催された短歌の大会では入賞をされたそうです。

取材を進めていくなかで、競争体験のお話しも伺うことができました。「戦後60数年がたつて、そのことが風化してきている気がするよ。あのことは絶対に風化させてはいけないし、これからも語り継いでいかなければならない。」と力強い眼差しでおっしゃっていたのは、とても印象的で心に響きました。

好きな言葉は「誠実」。まさにそれがお人柄に表れている桑島さん。最後にこれからの目標についてお伺いしました。「水墨画をもっとまくなりたいね。また、始めて5、6年だからもつと練習しなければいけないね。」とさらなる向上心に頭が下がります。

終始こちらの質問に丁寧に答えてくださった桑島さん。これからもお体に留意され、ますますのご活躍を期待申し上げます。



短歌大会での賞状



水墨画の作品

※シルバリーハビリ体操指導士
地域の介護予防を推進するボランティアの指導者として、市町村事業や地域の公民館、老人クラブ等で介護予防のための活動をしている。資格取得には一定時間の養成講座の受講が必要。



赤い羽根共同募金



～ひとり、ひとりのやさしさが、
あなたの住むまちを、もっと、やさしくしてくれます～

じぶんのまちを良くする活動に、じぶんのまちの、やさしい思いを届けます

○共同募金の使われ方

地域で集めた募金は、集めた地域で使われています。

集まった募金の約70%は、募金をいただいた地域で使われています。残りの30%は、市町村を超えた広域的な課題を解決するための活動に、都道府県の範囲内で使われています。

行方市内においては手話講座、ふれあい料理教室、給食サービス、盲人用録音物配布、子育て健康講座、ひとり親家庭ふれあい事業、福祉体験事業などに使われています。

また、災害にも共同募金は使われています。大規模な災害が起こった際のそなえとして、各都道府県の共同募金会では、募金額の一部を「災害等準備金」として積み立てています。この積み立ては、大規模災害が起こった際に、災害ボランティア活動支援など、被災地を応援するために使われています

たくさんのひとたちがやさしさを集める活動をしています。

共同募金運動は、年間200万人といわれるボランティアの皆さんにより支えられており、さまざまな募金活動の種類があります。



○募金活動の種類

- ・「戸別募金」：各家庭に募金を呼びかける。
- ・「街頭募金」：街角や人の集まる場所で募金を呼びかける。
- ・「法人募金」：企業に募金を依頼する。
- ・「職域募金」：企業の従業員の方に職場での募金を依頼する。
- ・「学校募金」：学校において児童・生徒に募金を呼びかける。
- ・「イベント募金」：イベントを通じて募金を呼びかける。



福祉体験事業



ふれあい料理教室

今年度も10月1日から赤い羽根共同募金運動が実施予定です。みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。



10月1日▶12月31日

茨城県共同募金会行方市支会(行方市社会福祉協議会内)

住所 行方市玉造甲403番地
電話 0299 (36) 2020
FAX 0299 (55) 4545

第11回ビックリ・発見・夏キャンプを開催

～今年も熱い夏キャンプでした～

ビックリ・発見・夏キャンプが、8月7日（水）から8日（木）にかけて白浜少年自然の家において開催されました。この事業は自立・交流・体験の機会拡大を通じて社会性や協調性を育むことを目的としています。

当日は、154名の方にご参加いただき、真夏の日差しの下、レクリエーションなどを行いました。また、開催にあたっては土浦市所在のアール医療福祉専門学校の学生の皆さんにご協力をいただきました。



レクリエーションやペットボトルロケットを作って飛ばしたいしました



全員集合です

保護者の声

・夏キャンプに参加させていただき3回目になります。毎年子どもは楽しみにしています。学生さんたちがいろいろなレクリエーションを考えて、子どもたちは積極的に活動をしている様子が見られました。保護者は講演会、交流会がありアドバイスをもらいとても参考になりました。今後もよろしくお願いいたします。

みんな笑顔で

のびのびサポート事業

夏休み期間中、玉造農村環境改善センターにおいて、延べ10日間ののびのびサポート事業（レスパイトサービス）を開催しました。今年度で5年目を迎えた本事業は、今回も多くの方々（延べ91名）にご参加をいただきました。

保護者の声

- ・毎年下の子がお世話になっています。子どももとても楽しみにしており、朝張り切って出かけ、迎え時間にはニコニコ笑顔で帰ってきます。預けている間は上の子との時間にあてています。普段どうしても手が届く方へいきがちですので、こういう時間を作っただけで大変感謝しております。
- ・夏休みは生活のリズムが壊れやすく、集団で日中を過ごすことができるのは、とても有り難いと思っています。連日のプールで夏の子どものらしい顔つきになりました。マンツーマンでの手厚いスタッフの皆様の対応により、今年の夏も乗り切ることができそうです。
- ・のびのびサポートに参加させていただいて3年目です。外出が大変で、長期休暇中は家にいることがほとんどでしたが、のびのびに参加して学生さんと遊ぶのが楽しく、帰宅しても笑顔が見られるようになりました。今後もよろしくお願い致します。

上記2つの事業も、赤い羽根共同募金配分金によって行っています。

社協のさーびす ② 在宅言語リハビリアドバイス事業

前号より掲載しております社協のさーびす。今回は在宅言語リハビリアドバイス事業をご紹介します。



A子さん：病気をした父なんです、それが原因でその後なかなかうまく話すことができなくなってしまっ。もどかしいみたいなんです。そのせいで性格もふさがちになってしまいました。何か良い方法はないでしょうか？



社協太郎：お父さんのことをご心配される気持ち、良くわかります。それなら「在宅言語リハビリアドバイス事業」を利用されてはいかがでしょうか？



A子さん：それはどのようなものでしょうか？



社協太郎：※言語聴覚士が自宅を訪問し、言語リハビリについてのアドバイスを行うものです。健康状態・機能の把握はもとより、福祉用具等の利用のアドバイスも行います。また、ご家族の方にもかわり方の助言をいたします。



A子さん：自宅に来てくれるのはありがたいですね。頻度はどのくらいですか？



社協太郎：毎月1回で、時間は約30分です。ぜひ、ご利用ください。

※言語聴覚士とは…ことばによるコミュニケーションに問題がある方や、飲み込みがうまく出来ない方などを対象に、専門的で日常可能な取り組みについてアドバイスを行い、自分らしい生活を構築できるよう支援する専門職です。

「社協に寄せられる相談」

社協には日々、様々な相談があります。社協で解決の方向性が見出せるものもあれば、より適切な専門機関や市役所の担当部署に繋ぐこともあります。そのようななかで、多い相談が「高齢者の退院後の生活」についてです。退院後には、本人や家族が制約を受けることが多々あります。例えば、「今の玄関では対応できない」「自分で食事をつくるのが出来なくなった」などです。そこで、在宅生活を快適に過ごしていただくため、または場合によっては在宅生活以外にも視野に入れながら様々なサービス等を紹介します。「住宅改修」「ホームヘルパー」「デイサービス」「ショートステイ」などがそれにあたります。そして、本人・家族とサービスの仲立ちをするのが「ケアマネージャー」と呼ばれる人達です。社協には5人のケアマネージャーがおります。ぜひ、ご相談ください。

お問合せ 在宅福祉係 ☎ 0299(36)2020

はじめての手話⑦

今回は秋にまつわる手話を紹介します。
ぜひ、チャットセッションもご利用ください。

① 秋

指を広げた両手を顔に近づけ、
掌であおぐ動作を繰り返す



② 運動会

親指を立て
た両手を交
互に前後し、



両手の指先
を斜めにつ
け合せ、同
時に斜め下
へ引く



③ 紅葉

唇を右手人差指の指先で右に
引く(赤く色づく様子)



開いた左手の薬指と人差指指先
を順に右手2指でつまんで引く



④ 栗

右手拳で顎をこするような
に2回下ろす



⑤ さんま

左手4指の指先を右手2
指ではさみ、右へ細長く
引いて閉じる



細長い身の形を表現

⑥ トンボ

指のつけ根で両手を交差
させて2指を小刻みに上
下する



市内において活動している手話サークル

みんなの手 (麻生地区)、相生会 (北浦地区)、ほたる灯 (玉造地区) があります。手話に興味を持たれた方はぜひご連絡ください。

お問合せ 地域福祉係 ☎0299 (36) 2020

給食サービス利用者募集 まごころこめたお弁当をおとどけします



在宅において食事の調理が困難な高齢者または障害者の方に対し、栄養バランスのとれたお弁当をボランティアの皆さんの協力（調理・配達）によりお届けします。

- ☆ 対象者 1. 65歳以上のひとり暮らしまたは高齢者のみの世帯で、調理が困難な状況にある方
2. 身体障害者、知的障害者及び精神障害者であって、調理が困難な状況にある方

☆ 利用料 1食につき150円

☆ 内容 お弁当を昼食時にご自宅にお届けします。

- ※ 予定表については、各地区異なります。
詳細はお問合せ下さい。



応援します！ 子育てと仕事の両立

子育てサポート事業

サポートの内容は？

- 保育園・幼稚園等保育施設の送迎、休園日等の預かり
- 保護者の病気などの時の預かり
- その他、保護者の必要に応じての預かり（保護者のリフレッシュの為の利用も大歓迎!!!）



利用会員

- 市内に居住又は勤務し、生後6ヶ月から中学校就学前までのお子様を持つ方

活動時間及び利用料 ※一世帯、1時間あたり400円の助成金を交付します。

- 平日 午前7時～午後7時まで 1時間あたり800円
午後7時～午後9時まで 1時間あたり900円

※利用料金はお子様一人の金額です。兄弟で利用する際には、それぞれ利用料金がかかります。

※休業日に利用される場合には、1時間あたり900円になります。

- 休業日 土曜日・日曜日・国民の祝日・年末年始（12月29日～翌年1月3日まで）

※休業日の利用を希望される方については相談に応じます。

キャンセル料

- キャンセル料については下記のとおりになります。
(1) 前日までの取消し 無料 (2) 当日の取消し 半額
(3) 申出がないときの取消し 全額

☆このサービスを利用するにあたり、社会福祉協議会へ事前に登録が必要となります。
ご不明な点等ありましたら、ご連絡下さい。



お問合せ 地域福祉係 ☎ 0299(36)2020

介護予防教室参加者募集のお知らせ

～いきいきとした毎日のために、みなさんも参加してみませんか～

ふれあい広場 簡単なゲームや体操を行っています。

全 体	10:00～ 11:45	コテラス	9/3・10/1・11/5
太田地区	14:00～ 15:15	太田地区館	9/6・10/4・11/8
小高地区	14:00～ 15:15	小高地区館	9/11・10/9・11/13
大和地区	14:00～ 15:15	小牧集落センター	9/13・10/11・11/16
行方地区	14:00～ 15:15	西浦学習センター	9/18・10/16・11/20
麻生地区	14:00～ 15:15	麻生保健センター	9/20・10/18・11/22

いきいきゼミナール シルバーリハビリ体操やゲームを行っています。

内宿ふるさと コミュニティーセンター	9:30～11:30	9/11・25 10/9・23 11/13・27
繁昌学習センター	13:30～15:00	9/6・20 10/4・18 11/1・15

元気で～さ～びす館 シルバーリハビリ体操や文化活動を行っています。

玉造農村 環境改善センター	10:00～15:00	9/10・24 10/8・22 11/12・26
------------------	-------------	--------------------------

※お気軽にお問合せください。

お問合せ 地域福祉係 ☎ 0299(36)2020

社協広報誌「あおぞら」では皆様からの記事を募集しています。「ボランティアサークルのアピールや会員募集をしたい」「地域でやっている福祉事業を掲載してほしい」など掲載希望があればお問合せください

お問合せ ☎ 総務企画係 0299(36)2020

皆様からの寄付金・預託金 (順不同・敬称略)



一二三會



麻生小学校

寄付金

預託者名	金額(円)	指定先
一二三會	41,322	障害者地域活動支援センター
額賀京子	20,000	北浦
有馬七郎	30,000	北浦
田口史子	10,000	北浦
根本秀廣	10,000	北浦
内田義文	20,000	北浦
石田愛	10,000	北浦
石橋栄	10,000	北浦
横瀬将一	20,000	無指定
麻生創生會	50,000	無指定
行方ダンススポーツ部	10,000	無指定
高柳智江	20,000	北浦
原健治	10,000	北浦
鳥次秀紀	20,000	北浦
鉾田理容組合	6,500	無指定
宮内國男	30,000	北浦
本澤友江	20,000	北浦
行方市立麻生小学校	15,000	無指定
日下正之	20,000	北浦
花で彩るまちづくり会	10,000	無指定

広報委員

委員長	大軒光江	委員	高橋さち子
副委員長	石橋展子		山崎寛
委員	大久保守		横田照実
	菅谷京子		代々城千尋
	磯山正子		野原芳次

行方市善意銀行

平成25年5月1日から平成25年7月31日までに善意をおよせいただいた方々を紹介いたします。皆様からの善意は行方市のさまざまな福祉活動に使わせていただいております。



麻生創生會



常陽ボランティア倶楽部

物品寄付

預託者名	預託品	指定先
常陽ボランティア倶楽部	タオル500本	無指定
飯島義之	タオル106本	無指定

ご指定いただいた寄付につきましては、指定の事業に使わせていただきます。皆様からの温かいご寄付に心より感謝申し上げます。

編集後記

今年はずいぶん早い梅雨入り、そして早い梅雨明けでした。梅雨明けと同時に厳しい暑さが続き、各地で熱中症が続出し、市内においても何人かの方が病院に搬送されたと聞いています。

まだまだ暑い日が続きます。熱中症対策として、食事・睡眠・運動の健康三原則を守り、残暑をのりこぎいただきたいと思います。

市民の皆様のご協力により「あおぞら」も30号を発行することができました。本誌は情報発信はもとより、市民相互の交流と生きがいづくりに資するものでもあります。

これからも広報委員一同精一杯努力してまいります。引き続き発行にあたりご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

編集後記 大久保広報委員